

# 掛川市教育委員会定例会会議事録

教育委員会事務局

会議の名称	平成24年8月掛川市教育委員会定例会			
場 所	掛川市役所南館 教育委員会室			
開催日時	平成24年8月29日(水)	午後1時30分から午後3時30分まで		
次回開催日	平成24年9月25日(火)			
出席者	委員長 委員長職務代理者 教育委員 教育委員 教育長 教育次長	小野恵美子 松下一徳 平松季哲 山本和子 浅井正人 水野雅文	教育政策課長 学務課長 学校教育課主席指導主事 幼児教育課長 社会教育課長 図書館長 教育政策課室長 教育政策課調整庶務係長	鈴木利之 中根純一 落合浩美 松浦充 大川原淳 大石弘美 大倉照佳 小川閣典 小川岸道子

## 【会議次第】

- 1 開会
- 2 7月教育委員会定例会会議録の承認について
- 3 教育長の報告
- 4 協議事項
  - (1) 全国学力・学習状況調査について
  - (2) 待機児童対策について
  - (3) 掛川市教育委員会の事務に関する自己点検・評価報告書について
- 5 報告事項
  - (1) 「よりよい教育のための円卓熟議」について
  - (2) かけがわイングリッシュイマージョンキャンプ実施報告について
  - (3) 中体連の結果報告について
  - (4) いじめの状況報告について
  - (5) 児童生徒の現状報告について
  - (6) 9月市議会定例会日程について
- 6 その他
  - (1) 通行止めに伴う児童生徒の通学対応について
  - (2) 通学路の危険箇所に対する調査・協議結果回答について
  - (3) 木材利用促進に関する政策の現状について（木製机・イス関係）
  - (4) 教育委員会組織について
  - (5) 次回定例会の日程等について
- 7 閉会

## 【議決事項】

- 1 全国学力・学習状況調査について

学校教育課主席指導主事

本年度掛川市では、抽出校と希望利用校合わせて全小中学校で実施したこと、結果の分析を今後実施していくことについて説明した。

〈質疑・意見〉

委員： 序列化や過度な競争が生じるおそれがあるというわりに、新聞には全国の平均点など

が出ているが、これは序列化とは言わないのか。

事務局： 県別には平均正答率を出しているが、抽出校という形でやっているので詳しいことは保護者にも分からない。自分たちの子どもが対象になっていれば分かる程度である。

市ごとに公表して平均正答率に差が出てくると、これをあおりながらいろいろな情報や質問などがでてきて学校に問い合わせがある事などが心配される。このため調査結果等については不開示情報として扱うこととなっている。

委員： 今後分析をしていくのか。

事務局： 9月に入ってから行う。

委員： 見通しの明るい報告をお願いしたい。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

## 2 待機児童対策について

### 幼児教育課長

待機児童解消に向けての緊急対応をすること、その他の待機児童対策について説明した。

### 〈質疑・意見〉

委員： 以前から幼稚園や保育園を教育委員会から市長部局へという話があったと思うが、委員長も教育は小学校に入ってからではないと言っている。

この前すこやかな幼稚園部・保育園部を訪問して先生と話をさせてもらったが、いま子どもを保育園で預かっているのは10～11時間、そうすると家に帰ってお母さんと居る時間は短いですねと話をしていく中で、掛川市はどちらを向いていくのかなと思った。

親が働き易くして子どもを育て易くして、子どもを他人に育ててもらうのが良いのか、預けにくいかもしれないが、子どものためにお母さんと居られるような時間を作ってあげた方が良いのか、難しい問題だろうと思う。

そう言いながらも、子どもは生まれてくるし、大きくなっていくから、預け易いようになっていかざるをえないのかもしれない。子どものための教育にとって、預け易くしてしまってお母さんが社会に出て行くだけというのも。女性が働いてはいけないわけではないが、3歳くらいまではお母さんと居られる時間を長くしてあげられることも必要ではないか。より預け易くしてしまうのが良いのか難しい選択だと思った。

保育園も非常職員が多く、今年も常勤の先生を採用してもらえなかったと聞いた。常勤の先生に係ってくる責任が重くなっていくという中で、受け入れ側の場所はできても保育士が足りない、非常勤職員ばかりの状況で施設ばかり増やして良いのか、それならばきちんと常勤の保育士も採用する制度も作ってもらわないといけないのかなと思った。

子育て支援センターの中でサロンの要素はやめてという話があったとき、先生に聞いたら、お母さんはこういう問題がありますとって相談に来るのではなく、子ども連れてきて遊ばせながら相談をすることが多いので、相談センターだけにするのは機能を果たさないのではないかと現場の声でした。

将来の掛川を担う子どもだと考えたときに、私立ばかり増えて良いのかな、それらを踏まえた上で保育園を増やすことをしてかないといけない。

掛川幼稚園の跡地の利用はどうか。

事務局： 掛川幼稚園は取り壊して宅地にすることになっている。施行は遅れているが今年度中に行う予定である。地元との話し合いは済んでいる。

委員： 近くに子育てセンターひだまりがあり、街の中に子どもが居なくなってしまうのではないか。子どもが均等に居られるような工夫はないものかと思った。

委員： 保育園に入れたいと思う親が居るので定員を増やすのだと思うが、本来なら親が育て

の方が良いのと思う。老人施設も同じだと思う。

延長保育の理由も小学校の参観会というなら分かるがどうかと思う理由もある。あまりに社会で見てやると自分の子どもを育てる自覚が減るのではないか。

委員： 共働きでないとやっていけないということもあると思う。理想では親が育てるのが良いとは思いますが。

委員： 常勤の保育士を増やしてほしいと思う。

事務局： 保育士については、今年現状維持を最低の要望としていたが、行革のこともあり認められなかった。

待機児童対策については以前から課題になっていたが、国の方針もはっきりしていなかったもので、具体的な解決にはならないが保育ママでの対応をしてきて、先延ばしになってきた。

乳幼児教育振興計画の庁内検討委員会の中に、もともと待機児童対策がありましたので、南部の再編や公私立間の保育料格差などもあるのですが、とりあえず待機児童対策は待ったなしなので第一にした。今後南部の再編や公私立間の保育料格差など変わってくると思いますが、テーマごとにやってこれを一番にやったということです。

待機児童は増えているので、いま需要を満たしても新たな需要を生み出すので、どのくらい解消できるか分からないが、市としての待機児童対策の取組を示さないといけない。

国全体の方向性も今までは保育に欠けるということであったが、いまは保育を必要とするという流れになっている。全体な子育て支援がそうなので掛川市だけ保育は家庭でとは言えない状況だと思う。

保育園にも無理があり、支援児が増えてきているので少しの増員も無理だと言われる、一方では福祉的要素を含んだものも増えてきており随時で入ってきているので、兄弟での入園も出来ない状況にある。今回は民設民営の施設だが、そういったものが出来れば少しでも状況が緩和されるということでこのようになった。

事務局： 4月時点で県内で待機児童の多い市の4番目であった。待機児童対策をすぐとる必要があるレベルということである。

保育ニーズが常に変化していくが、政策は臨機応変に対応出来ない。ニーズに応えるための待機児童対策を出来るだけ早く対応しなければならない。

委員： 南部と旧掛川では若干違いがある。南部はまだ整備の方向性ができていないと思う。

事務局： 南部再編についてはあり方を検討しているが具体的にどうするかは決まっていない。

委員： 具体的になる前に本来の掛川市としての幼児教育の環境づくりとか、小学校とか、教育の環境づくりのビジョンというものが出来ていないと南部の計画も立てられないと思う。今は景気とか時代とかでニーズが変化する。現状の南部の満足度と旧掛川市が大きくなっていく、その現状を調査してこれからのビジョンに繋げていく。

今の形がよいのか、まとめて大きくするのが良いのか、大きくしたときに少なくなったとき余ってしまう。それより小さいものを住民の近くに多く作った方が良いかもしれない。本来の幼児教育の環境をはどういうものが良いのか、もう一度考えた方が良いのではないか。南部は小学校の近くにあり、兄弟や近所の人たちとコミュニケーションがとれる。

委員： 南部は施設は多いが子どもは減っていく。旧大東の時代に統合の話があったところもあるが合併により消えた。小学校にも言えるが、小さいところは落ち着きがあって良いというのはあるが、経済的なことを考えたり、複式学級とかの教育効果はどうか、適正規模が望ましい。

委員： 小学校ではあまり小さいと仲間同志で育たないとか高学年になるとあると思うが、幼稚園ではどういったものが良いのか。行革の中で運営をしていかなければいけないというのは分かるが教育は違う。赤字が出て人づくりをした方が将来のためになる。

予算の削減の優先順位や使い道の優先順位を考えていけば、将来を考えていけば、おのずと教育は削ってはいけないという部分が出てくると思う。

委員： 待機児童については待ったなしの問題で動きを速くしてあげなくてはならない。

委員： 昔はおじいちゃんおばあちゃんと同居して見てくれたが、今は同居をしていても預けるし、同居をしないから当然預けなければいけない。老人もそうである。いまは動きが変わってきているから。

委員： 時間外保育も最初は無料だったので人数が多かったが、有料にしたら激減したという。だったらもう少し早く引き取りに来て子どもを抱きしめてやってほしいと先生方も言っていた。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

### 3 掛川市教育委員会の事務に関する自己点検・評価報告書について

教育政策課指導主事

23年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価の報告書が作成されたことについて説明した。

〈質疑・意見〉

なし

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

## 【報告事項】

### 1 「よりよい教育のための円卓熟議」について

教育政策課指導主事

8月1日に開催されたよりよい教育のための円卓熟議におけるグループ討議の内容について報告した。

### 2 かけがわイングリッシュイマージョンキャンプ実施報告について

学校教育課主席指導主事

かけがわイングリッシュイマージョンキャンプに児童生徒40名が参加し、様々な体験活動を通して英語を学ぶプログラムにより子どもたちが英語コミュニケーションの楽しさを体験したことについて報告した。

### 3 中体連の結果報告について

学校教育課主席指導主事

中体連の東海・全国大会の結果について報告した。

### 4 いじめの状況報告について

学校教育課主席指導主事

いじめ報告件数などの状況報告及び、教育委員会のいじめ問題への取組について報告した。

5 児童生徒の現状報告について

学校教育課主席指導主事

不登校児童生徒数の推移などについて報告した。

6 9月市議会定例会日程について

教育政策課長

当該案件について報告した。

その他

- ・ 通行止めに伴う児童生徒の通学対応について
- ・ 通学路の危険箇所に対する調査・協議結果回答について
- ・ 木材利用促進に関する政策の現状について（木製机・イス関係）  
電力購入について
- ・ 教育委員会組織について（経過）